

令和2年6月26日 第3号 (No.417)

二小だより

ニセコ町立ニセコ小学校 TEL44-2252

教育目標

羊蹄の大地に 豊かな心で

たくましく未来を拓く ニセコの子

○つよく

○なかよく

○かしこく

物や人を大切にできる学校

校長 増川佳子

学校が再開して、1か月が過ぎました。子どもたちは、マスクや手洗いにもすっかり慣れ、“新しい生活様式”にしっかり対応してきました。(子どもたちの対応力には本当に驚かされます。)夏休みまで大きな行事がなく、心が大きく浮き立つことが少ない毎日なのですが、子どもたちは授業の中でも“初めてのこと”への挑戦に目を輝かせます。先日、3年生の書写の授業を参観しました。その日は人生初の毛筆の学習。道具の置き場所・準備のしかた・筆の持ち方・筆の動かし方…を、担任の橋絢子先生が丁寧に指導していました。新しい知識を得ることや初めての経験は、心を刺激します。そのわくわくする心地よさが学ぶ楽しさにつながっていくのだと感じています。

今春から毎朝、玄関で子どもたちを迎えています。最初は『この人は誰?』という感じでしたが、最近“校長先生”と認識してくれたようで、子どもたちから話しかけてくれるようになりました。

私は子どもの名前を覚えるのに時間がかかる方です。特に今年は“マスク”のために顔がわかりづらく、いつも以上に覚えられていません。(ごめんなさい。)やっと名前を覚え、ドキドキしながら名前を呼んだ時に「ハイ」と元気な返事を返してもらえると、とても清々しい気持ちになります。

子どもたちは朝の挨拶もとっても上手になりました。特に5年生が上手です。道徳の時間に、“挨拶”について学び、実践しているそうです。立ち止まって、相手の目を見て「おはようございます。」とペコリと頭を下げ、もう1度目を合わせます。朝からこんな素敵な挨拶に会えると、明るい一日が迎えられそうな気持ちになります。

ニセコ小学校の子どもたちが、誰にでも、どこでもこのような挨拶ができるようになったら、もっとたくさんの人たちに、“幸せな気持ち”が広がるように思います。お互いに顔を見合わせて行う挨拶は、自分と相手を大切にすること、尊重することにつながります。「あなたと私は味方です」という捉え方もできます。そして、「会話の始まり」にもなっていくのですから。

もう一つ、朝の玄関には素敵な光景があります。それは下駄箱に靴がきちんと入れられていることです。一つひとつの下駄箱に、つま先を中に、踵をそろえて、整然と靴が並びます。以前知った『はきものをそろえる』という詩を思い出します。

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐどきに そろえておくど
はくどきに 心がみだれない
だれかが みだしておいたら
だまってそろえて おいてあげよう
そうすればきっと
世界の人の心もそろうでしょう

藤本幸邦 (長野県円福寺元住職)

“返事” “挨拶” “はきものをそろえる” は日常の小さなことからです。でも、この三つのことを当たり前のこととして行うことができるようになったら、“一人ひとりが大切にされる” “温かい気持ちになれる” 学校になっていくことでしょう。

今年の児童会スローガンは『物や人を大切にできる学校』。物と人を大切にするために、どんな活動を行っていくのか、楽しみにしています。

5

年生の「田植え体験学習」が今年度も行われました。校区の三浦さんの水田で、苗をみんなで植えました。農作物を育てるということは、命そのものを育てることだけではなく、私たち人々の命をはぐくんでいることにもなります。自然環境や気象状況を見極めながら行うわけですから、常に収穫が0の可能性もあるということです。この学習を通して、子どもたちには生命のこと、私たちの命のこと、そしてそれを支えている農家の皆さんの思いなど。様々な視点からお米作りを見つめてほしいと思います。収穫後、おいしそうにお米をほおばる子どもたちの顔を思い浮かべると思わず笑みがこぼれます。



空

にたなびく鯉のぼりは、1年生が分散登校期間から作り始めた鯉のぼりです。5月は、学校が臨時休業中だったため、1ヶ月遅れで空を泳ぐことになりました。写真ではわかりづらいとは思いますが、学校付近を通りかかった方は、鯉のぼりが見えたのではないのでしょうか？様々な教育活動が制限されていますが、先生方は様々な工夫を凝らして子どもたちの思いや願いの実現に邁進しています。

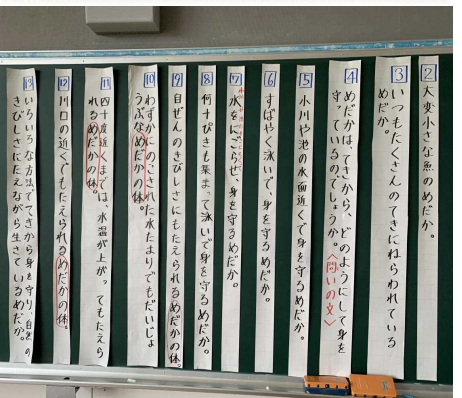


学

校が始まって一ヶ月。学習も軌道に乗り始め、子どもたちは毎日集中してがんばっています。写真のように、距離を保ちながら楽しく運動できるよう工夫したり、学習の成果が見えるように、教室の掲示方法を工夫したりしています。また、高学年は、臨時休業中の自主学習の成果も見られているようで、自分で課題を解決したり、家での学習を授業に生かしたりできているようです。休業中の子どもたちのがんばりとそれを支えてくださったご家族の皆様のご協力に改めて感謝しています。

児童会活動も始まりました。今年のスローガンは「物や人を大切にできる学校」に決まりました。とてもよいスローガンです。各委員会、ここでも感染対策に気を遣いながらできることを考えて取り組んでいきます。少しずついつもの学校生活に戻り始めています。その一方で子どもたちの疲れもたまってきていることで

しょう。学校でも健康観察に注意していきますが、ご家庭でも子どもたちの体調にも気を配ってあげてくださいね。



ちょっと羽やすめ



先日、学校の玄関の軒の部分にツバメが巣作りを始めました。支援員のT先生のご主人によると「ツバメが巣を作る学校は安全で安心な愛情に包まれたすばらしい学校」なのだそうです。ツバメさんが選んでくれた学校なんだ！安全・安心で愛情に包まれているのか！と喜び勇んでツバメの巣作りの泥や糞がみなさんにかからないように、公務補の成田さんをお願いして、下に泥よけのビニール傘をつるしたのですが、つるす時期が早すぎたのか、巣作りをあきらめてしまったようです。教頭の痛恨のミス…。ごめんなさい…。でも、せっかく選んでくれたから、来年また来てくれないかな…。子どもたちに雛が成長する様子見せてみたかったです…。

